

## 一般財団法人いばらき盲導犬協会 平成 30 年度事業報告書

### 1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

#### 1.1 訓練責任者交代

4 月 1 日付で福岡義明が訓練責任者に着任し、本年度を通じてこれまでの訓練業務全般に対して徹底的な見直しをおこない抜本的な改革をはかることで、今後の盲導犬育成のための基礎固めに注力した。

#### 1.2 子犬の購入

合計で 6 頭の子犬を、盲導犬、または繁殖犬の候補犬として購入した。

#### 1.3 繁殖

協力関係にあるブリーダーから提供された種牡と所有する台牝の交配により、盲導犬、または繁殖犬の候補犬として 7 頭の子犬が誕生した。

#### 1.4 研修会・訪問指導

上述した業務改革の一環として、子犬飼育ボランティアを対象に毎月 1 回の研修会を開催、また頻回に各家庭を訪問して個別の指導をおこなうこととし、これを実行した。

#### 1.5 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

8 頭の犬に対して、盲導犬の訓練犬としての飼育、及び訓練をおこなった。

一覧：訓練／購入／繁殖の状況（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）

訓練犬			子犬（購入）
8			6
盲導犬認定	進路変更	訓練継続	子犬（繁殖）
0	4	4	7

※ 訓練継続のうち 2 頭は（公財）日本補助犬協会より預かり

一覧：保有犬の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	子犬	合計
4	2	2	10	18

※ 子犬 2 頭が早期進路変更／子犬 1 頭が早期訓練開始

#### 1.6 後進の育成・指導

研修生 1 名の教育をおこなった。

## 2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

### 2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で学習会・見学会を開催した。臨時の学習会を含め 15 回の開催となった。主な参加者は次のようであった：一般希望者、県内のライオンズクラブ会員

### 2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて 7 回おこなった。講話の主な対象者は次のようであった：企業（新入）社員、小学生、中学生、高校生、父兄、教員、社会福祉協議会やその他の社会福祉法人、生涯学習センターが主催する福祉関連イベントの参加者、ライオンズクラブ会員

### 2.3 イベント参加

行政、企業、団体、個人が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（31 回）。主な参加先は次のようである：県内のライオンズクラブの活動、企業や行政が主催する地域の祭やイベント、協力企業・協力団体が参加するイベント（合同出展）

### 2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

#### 2.4.1 盲導犬写真パネル展（平成 31 年 3 月 4 日～3 月 8 日／水戸市／対象：2000 人）

茨城県保健福祉部障害福祉課の協力のもと、茨城県庁（県民ホール）にて「盲導犬の一生」をテーマとした写真パネルの展示をおこない、県職員や来庁者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

#### 2.4.2 盲導犬写真パネル展（平成 30 年 7 月 19 日～24 日／水戸市／対象：800 人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真（撮影：小沼渉氏）を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう努めた。

#### 2.4.3 チャリティードッグフェスタ（平成 30 年 6 月 24 日／水戸市／対象：300 人）

愛犬家団体「水戸フライングドッグクラブ」の協力のもと、同クラブのドッグランにて犬に関する催し（盲導犬訓練実演／家庭犬しつけ実演／競技犬競技実演など）をおこない、来場者（主に愛犬家）に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう努めた。

## 2.5 「ローリー基金」との共同活動

本法人の支援ボランティアグループである「ローリー基金」の活動へ職員、役員、広報犬を派遣するなどして、同グループの活動の効果が向上されるよう図った。主な活動は次のようである：定期街頭募金活動協力 10 回、臨時街頭募金活動協力 12 回

## 2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」、並びに「協会だより（第 6 号）」（9 月発行；年度内に 6000 部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

## 3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため以下の取り組みをおこなった。

### 3.1 チャリティーコンサートの開催（平成 31 年 2 月 9 日／水戸市／対象：70 名）

水戸奏楽堂（株式会社 MCM）の協力のもと、チャリティーコンサートを開催した。

## 4. 寄附金の使途報告

ここでは平成 30 年度の寄附金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する。

- ・ かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金（596,425 円）

以上の寄附金・助成金は、平成 30 年度に盲導犬候補、または繁殖犬候補として購入した 6 頭の子犬うち 3 頭の購入費（200,000 円／頭）の大部分に充当した。

## 5. その他

### 5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第 1 回	平成 30 年 4 月 1 日（日）※	臨時	平成 30 年 4 月 1 日（日）※
第 2 回	平成 30 年 5 月 25 日（金）		
第 3 回	平成 30 年 6 月 24 日（日）※	定時	平成 30 年 6 月 24 日（日）※
第 4 回	平成 30 年 11 月 30 日（金）		
第 5 回	平成 31 年 3 月 26 日（火）		

※本法人の主たる事務所にて開催；その他の理事会は本法人ひたちなか訓練センターにて開催

## 5.2 人事・陣容

### 5.2.1 役員就任

臨時評議員会の選任により、4月1日付で福岡義明、並びに松澤諭が理事（辞任した中野薫の後任）に、朴善子が評議員（増員）に就任した。

### 5.2.2 歩行指導員認定

4月1日付で福岡義明が訓練部門の責任者として着任した。同日、理事会（第1回）は福岡を本法人の歩行指導員として認定した。

### 5.2.3 理事改選

定時評議員会は、柏正雄、斉藤つぎ、福岡義明、並びに松澤諭4名の理事重任を決定した。

### 5.2.4 代表理事選出

第3回理事会は、斉藤つぎ代表理事の重任を決定した。

## 5.3 法人名称変更

5月15日付で法人名を「一般財団法人全国盲導犬協会」から「一般財団法人いばらき盲導犬協会」へ変更した。

## 5.4 インターンシップの受け入れ

高等学校、動物専門学校より2名のインターンシップを受け入れた。

## 5.5 心のバリアフリー

国の推進する「心のバリアフリー」（ユニバーサルデザイン2020行動計画）について理解をより深めるため、（公財）日本補助犬協会が開催する同テーマについてのフォーラムに役員が参加し、知識の拡充に努めた。

## 5.6 厚生労働省障害保健福祉部による説明会

「海外から渡航してくる身体障害者補助犬使用者への対応に関する説明会」へ役員が参加した。

## 5.7 他団体主催の行事等への参加（広報啓発業務以外）

助成金、目録等の受け取りや当会の自己紹介、挨拶をおこなう目的で、他団体の主催する行事に職員、または役員と広報犬が参加した。主な参加先は次のようである：ライオンズクラブの周年行事や例会、かすみがうらマラソン大会、仏寺主催の法事（常光院水戸精舎）

## 5.8 附属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和元年6月14日、令和元年度第1回理事会にて承認、同日、定時評議員会にて報告